

2025年5月16日

各 位

会 社 名 株式会社ROXX
代表者名 代表取締役社長 中嶋 汰朗
(コード:241A、グロース市場)
問合せ先 執行役員 CAO 高瀬 年樹
(TEL. 03-6777-7070)

2025年9月期第2四半期 決算説明会 Q&Aの公開に関するお知らせ

当社は、2025年5月15日付で、以下のとおり、2025年9月期第2四半期決算説明会を実施いたしましたのでお知らせいたします。

詳細につきましては、別紙をご参照ください。

2025年9月期第2四半期 決算説明会 Q&A

Q1 (fundnote - 川合様) :

トランプ政権の相互関税政策による影響について教えてください。

A1:

現時点において一切影響はございません。当社の主要な求人企業様は施工管理や販売・サービスといった内需型産業を中心としており、今般のトランプ政権の相互関税政策による影響は限定的です。当社は特定の産業や職種への過度な依存を避け、求人企業様を分散することで、景気後退や突発的な感染・政治のイベントによる影響を緩和すべくポートフォリオを組んでおります。

Q2 (匿名) :

RPO (採用代行) における今後の考え方を教えてください。

A2:

今後は「RPO (採用代行) の規律」を意識し、受注先を主要な求人企業様で安定的な採用実績がある先に限定すると同時に、GMV (Gross Merchant Value、流通取引総額) の一定水準以下に留めることを考えています。また、受注は継続的に実施することで、来期以降への大きな影響がないようにする予定です。

これまで試験的な取り組みとして実施していた「RPO (採用代行)」を第3四半期より本格的に提供開始する理由として、主に以下の2点が挙げられます。

(1) 無料掲載にとどまる通常プランと比べ、戦略設計や選考プロセスなど採用課題により深く踏み込めるモデルであるため、求人企業様に対してより一層大きな価値を提供できるだけでなく、選考の歩留まりなど選考オペレーションの改善を通じて、プラットフォーム全体のGMV向上も期待できるようになったこと

(2) 当該プランの販売を通じて、従来の成果報酬に加え、約10%程度の成約単価の向上を実現できたこと

Q3 (匿名) :

「配置転換及び組織体制の強化(分業化)」による離職率への影響について教えてください。

A3:

前年度におきましては、13.0%でございまして、今年度も一定の新陳代謝も想定している兼ね合いから同等程度を想定しております。なお、こちらはご質問いただいた分業化に伴う影響を含めております。一方で、全産業における平均値が15.4%であることから、こちらの水準を目安としてください。

Q4(山和証券 - 清水様):

2025年9月期の通期業績の着地見込みについて教えてください。また、来期・再来期以降の成長見通しについて教えてください。

A4:

現時点においては、2025年9月期の通期業績予想を据え置きとさせていただいております。来期・再来期以降の成長見通しにも変更はございません。第2四半期の業績は、「配置転換及び組織体制の強化(分業化)」の影響で、想定を上回る生産性の低下となっており、大きく未達に終わっております。こちらは経営判断としては中長期的には正しい意思決定だったと考える一方で、ダウンサイドの見通しが甘かったと大いに反省しております。しかしながら、これまで試験的に実施していたRPO(採用代行)を本格的に受注開始することで、相当額の打ち返しを見込んでおり、2025年9月期の通期業績予想は変更していません。

Q5(アセットマネジメントOne - 田原様):

ノンデスクワーカー領域における採用市場の動向と競合環境について教えてください。

A5:

ノンデスクワーカー領域における採用市場は依然として堅調です。雇用側の有効求人倍率も高く、需要が底堅い一方、労働側の供給が不足しており、賃金や成約単価は大きく上昇しております。このような状況を受け、雇用側は採用条件を緩和し、求職者の確保を試みております。

また、競合環境においては、新規上場時に競合他社の参入が噂された事例も一部ございましたが、求職者の集客側、求人企業の需要側、また求職者の選考中における競合人材紹介会社とのバッティングにおいても、特に大きな変化は見受けられません。

Q6(みずほ証券 - 秋山様):

足元の業績は回復しているとのことですが、第3四半期以降は売上高で前年同期比4~50%超のハイパーグロースの水準に戻るとの認識で良いのかを教えてください。

A6:

足元の業績においては、従来水準に一定戻りつつあるとの認識で相違ございません。説明会でもお伝えいたしました通り、通期における業績修正においては否定できるものではありませんので、この5月、6月の業績を見てからというところではありますが、足元の第3四半期は、当初計画していた水準に戻る見通しでございます。

【免責事項】

- 本資料は、株式会社ROXX(以下「当社」といいます)の企業情報等の提供のために作成されたものであり、国内外を問わず、当社の発行する株式その他有価証券の勧誘を構成するものではありません。

- 本資料には、当社の計画や戦略、業績の見通し等、将来の見通しに関する記述が含まれています。将来の見通しに関する記述には、別段の記載がない限り本資料の発表日現在における当社が入手可能な情報並びに当社の計画及び見込みに基づいた当社の想定、将来の見通し及び推測が含まれますが、これらが達成される保証はありません。経済状況の変化、当社サービスのユーザー様の嗜好及びニーズの変化、他社との競合、法規制の変化環境、その他の様々な要因により、将来の予測・見通しに関する記述は実際の業績と大幅に異なる場合があります。したがって、これらの将来に関する記述に全面的に依拠することのないようご注意ください。また、独立した公認会計士または監査法人による監査またはレビューを受けていない、過去の財務諸表または計算書類に基づく財務情報及び財務諸表または計算書類に基づかない管理数値が含まれていることをご了承ください。当社は、適用ある法令又は証券取引所の規則により要求される場合を除き、本資料に含まれるいかなる情報についても、今後生じる事象に基づき更新又は改訂する義務を負うものではありません。
- 本資料には、当社が事業を行っている市場に関する情報を含む、外部の情報源に由来し又はそれに基づく情報が記述されています。これらの記述は、本資料に引用されている外部の情報源から得られた統計その他の情報に基づいており、それらの情報については当社は独自に検証を行っておらず、その正確性又は完全性を保証することはできません。